

2011年3月4日

WFC会長 Dr. J. Michael Flynn

WFC事務局長 Mr. David Chapman-Smith

World Federation of Chiropractic

1246 Yonge Street, #203

Toronto, Ontario

M4T 1W5

Canada

日本におけるカイロプラクティック・セミナーのあり方に関し、チャップマンミスWFC事務局長より12月16日付でEmailでご返信をいただきました。ありがとうございました。

事務局長は返信文で「WFCメンバーであることの立場はたいへん明確なもの - カイロプラクターは非カイロプラクターにアジャストメントを教えるべきではない」と述べていますが、日本人にとっては明確に響きません。カイロプラクターと非カイロプラクターの定義に議論の余地があること、アジャストメントの定義にもあいまいさがあるからです。法制化された国では、カイロプラクターは、カイロプラクティック免許のある人です。「日本ではCCA認定学位のある人とJAC認定コース修了者である」とWFCとJACは主張しますが、これはWFCとJACが決めた日本だけのルールです。

科学新聞社は昨年9月、カイロプラクティック施術者にこのルールに関連したアンケート調査を行いました。多くのカイロプラクティック施術者は、このルールを適切でないと考えていますし、従ってもいません。日本政府や国民に受け入れられたものでもありません。日本人施術者の中では未だ合意を得たことのない、議論の余地のある問題です。

WFCはアジャストメントを、マニピュレーションとモービリゼーションと公式文書で述べています。オステオパスを始め、非カイロプラクターが発明したアジャストも多く存在します。現にWFCが差し止めた昨年のセミナーでは、ロシアの整骨師が発明したアジャストも教えられる予定でした。WFCの定義する非カイロプラクターが多数の日本で、非カイロプラクターが発明した技術まで規制するというWFCの主張は、合理性に欠けた行き過ぎたものであるように感じます。

日本では、W F C 定義上の非カイロプラクターがカイロプラクティックの発展に大きく関与してきました。例えば、Schafer、Faye 著『カイロプラクティック動態学』の膨大なテキストの翻訳は非カイロプラクターが協力して行いました。日本カイロプラクティック徒手医学会（J S C C）は、10 年以上継続して学術活動をしている日本で唯一のカイロプラクティック学会です。学会誌の発行、学会誌への投稿、学術大会の開催などの学会活動は、その多くをW F C 定義上の非カイロプラクターが担ってきました。彼ら無くしてJ S C Cの活動は維持できないでしょう。このような仕事さえもまだ金儲けのためと言う人がいるのでしょうか。カイロプラクティックへの強い熱意と興味がなければ、決して成し遂げられない仕事でしょう。

カイロプラクティックの高い教育基準をつくってそれを守るというJ A CとW F Cの努力は、カイロプラクティックを国の医療制度に組み込んでいくことにつながる貴重な取り組みとして尊敬しております。しかしその枠組みから外れたところで、カイロプラクティックの科学、芸術、哲学に貢献しているカイロプラクティック施術者が日本にはいるのです。それらの人々を排除するような政策を推進するのはどうかおやめください。私たちの行っていることを制約するような日本政府の方針はどこにも存在しません。日本のカイロプラクティック状況をご理解頂きたいと思います。

ご返信に鑑み、結論を申し上げますと、私および科学新聞社は、今後も日本人、外国人を問わず、日本の状況を理解し、賛同するカイロプラクターを招いてのセミナー活動を継続する所存です。どうか私どもの活動に協力し、日本でのカイロプラクティックの普及と発展に貢献して下さるカイロプラクターを妨害したり、非難したりしないでください。最後に申し上げたいことは、私たちは、世界のカイロプラクティック界に向かって己の正当性を主張するものではないということです。ただ現在の日本の特異な状況においては、自由なカイロプラクティックの学び方を許容してほしいのです。私どもの意見と活動にご理解がいただけますことを願っております。

櫻井 京